

9 河川管理の徹底・強化

計画的な維持管理

河川維持管理計画に基づいて、定期的な雑草刈払いや巡視・点検等により、河川管理施設の状態を確認しています。発見した異常は、緊急性や現地の状況等を考慮し、総合的な優先順位を判断した上で、応急的修繕または計画的修繕を実施していきます。

河川管理施設の状態確認のため雑草刈払いを実施



実施前



実施後

点検・巡視により河川管理施設の状態を確認



点検の様子



異常の発見

点検により発見された異常で緊急性の高いものについては、応急修繕等により対応し、優先度の高い崩壊の恐れのある護岸や、破損した転落防止柵などの修繕を行い、治水安全度の向上、沿川住民や通行者などの安全を図ります。

応急修繕等



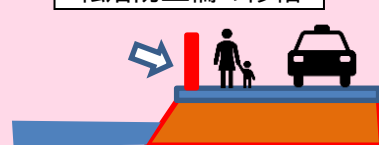
緊急性の高い異常箇所は応急修繕を行います。

護岸の修繕



基礎や根固めの損傷等による護岸崩落の恐れ

転落防止柵の修繕



沿川通行者の転落等による事故発生危険性



修繕前



修繕後



修繕前



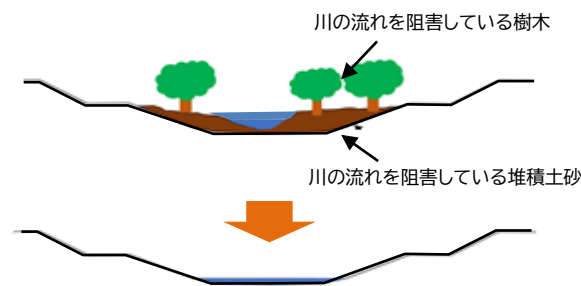
修繕後

緊急浚渫推進事業

経年的に河道内に土砂が堆積したり、樹木が繁茂することにより、川の流れを著しく阻害している箇所については、土砂の撤去や樹木の伐採が必要となります。

本県では、堆積状況や後背地の状況等を考慮し、土砂撤去や樹木伐採を推進し、流下能力を確保していきます。

緊急浚渫推進事業による事業効果イメージ図



実施前



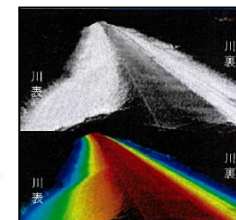
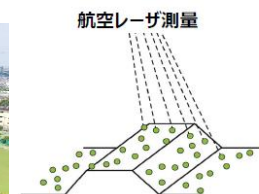
実施後

維持管理の効率化・高度化

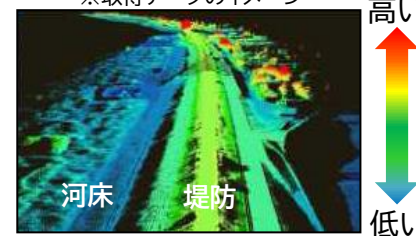
3D点群データの活用によるDX(デジタルトランスフォーメーション)を積極的に活用し、維持管理の効率化・高度化を図ります。



3D測量イメージ



※取得データのイメージ



高い
低い

3D点群データは、連続的な地形データであるため、面的・定量的に課題を把握し、効果的な対策が可能となります。